

進路だより

進路指導部

勉強の時給を考える！

みなさんは『勉強の時給！』と聞くと、どのようなイメージを持ちますか？中には勉強とお金を結びつけるなんて…と感じる人もいるかも知れません。

今回は勉強のことを少し違う視点から見て欲しくて、このテーマを取り上げてみました。



単純には計算できない

じゃあ、熊高生の勉強の時給は〇円です！と言えれば、分かりやすいのですが、勉強したことでお金はもらえません。

将来どんな職業について、その職業でどれくらいの生涯賃金(一生で稼いだお金)を得たか？そして、そのために高校の時、何時間の勉強をしたか？こんな数字を計算する必要があります。

ちょっと遠い話になりますが、最近テレビのクイズ番組で活躍している東大生、東京大学の卒業生についてこんな計算をした人がいます。まず、東大卒業生と一般の大学卒業生の平均生涯賃金に1億8000万の差があるそうです(ある新聞社の計算)。それを東大生の平均総学習時間で割ると、1億8000万÷2万時間=9,000円/時という差が出てくるそうです。

(https://iec.co.jp/media/corner/mathematical_viewpoint/08 参照)時給9千円のアルバイトなんてそうそうないですよ。

生涯賃金

ここで注目して欲しいのは、**生涯賃金**。月給のようにパッとわかるものではないけど、みなさんの人生に大きく影響を与えるものです。

ちなみに高卒公務員2億6千万、民間企業では高卒男性平均2億2千万(従業員規模1,000人以上:2億7千万/1,000未満100人以上2億1千万)です。

(<https://jiseki-koumuin.com/salary-5/> 参照)

企業の規模で数千万円の違いがあり、これに正規・非正規雇用の違いが加われば、億単位の違いが出てくる可能性があります。

お金がすべてでないことはもちろんです。就職には、勉強に加え、体力や適性、人間力が必要です。

しかし、「**勉強がみなさんの人生のこんな大きな数字に直結している！**」ということは意識してみてもよいのではないのでしょうか。

